

株主のみなさまへ

第22期報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

株式会社トランスジェニック

証券コード 2342

ご挨拶



代表取締役社長 福永 健司

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第22期の事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社は、「未来に資するとともに、世界の人々の健康と豊かな暮らしの実現に貢献する」ことを目指しております。

この経営理念を実現するために、グループでは基礎・探索研究から、非臨床、臨床及び診断・解析まで網羅した創薬支援サービスを行うCRO事業及び診断解析事業を展開するとともに、グループの収益基盤強化を目的として事業承継・再生事業分野を対象とした投資・コンサルティングを展開するTGBS事業を営んでおります。

2020年3月期の事業の状況としましては、下記「業績概要」に記載のとおり、不本意な結果となっておりますが、築き上げてきた収益基盤の多角化を活かし、グループ全社一丸となり早期業績回復を実現する所存です。

株主の皆様におかれましては、当社の取り組みにご理解をいただき、なお、一層のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2020年6月

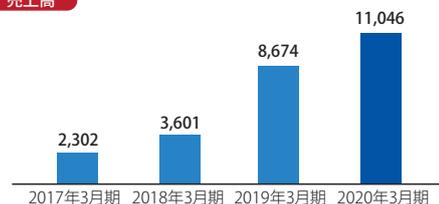
代表取締役社長 福永 健司

業績概要

◆第22期連結会計期間の業績

単位:百万円

売上高



営業利益



経常利益



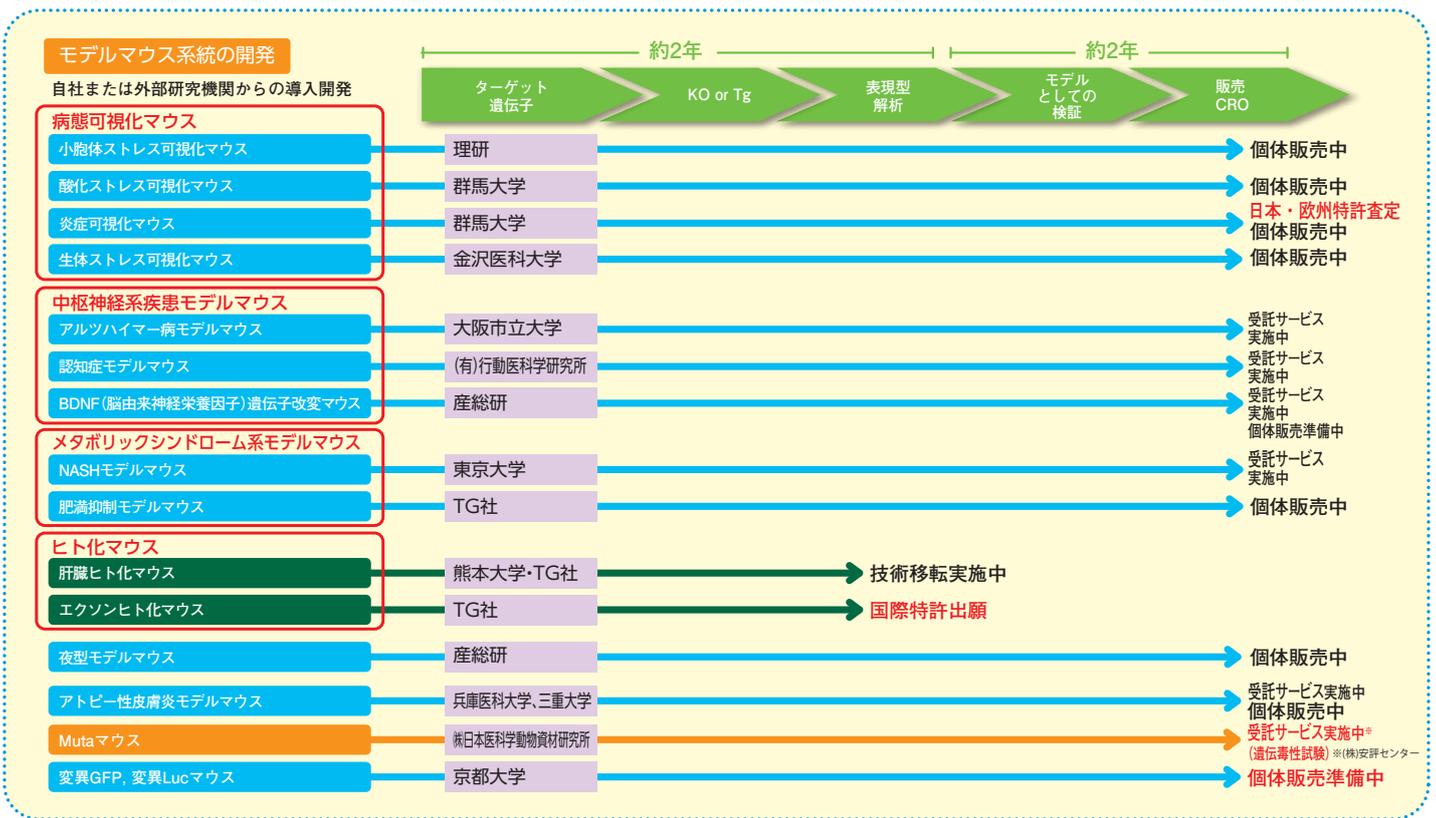
2020年3月期連結累計期間は、CRO事業では、中核子会社である株式会社新薬リサーチセンターと株式会社安評センターとの顧客網の共有化と一体的な営業を進め、既存顧客との取引の強化と新規顧客の開拓に注力しましたが、新型コロナウイルス問題の顕在化以降に売上及び受注が伸び悩みました。診断解析事業では、株式会社ジェネティックラボにおいて必要な体制を整え、2020年3月に新型コロナウイルス検査(PCR検査)の受託を開始しました。TGBS事業では、2019年4月には複層ガラス用副資材やガラス加工設備等の輸入販売を展開する株式会社TGMを、2020年3月には洋食器の輸入と通販サイトでの小売販売や卸売を行うギャラククス貿易株式会社を連結子会社化しました。

この結果、当連結累計期間における当社グループの業績は、CRO事業の売上が新型コロナウイルス問題の顕在化で失速したものの、連結グループに加入した株式会社TGMの売上が寄与し、売上高は11,046百万円(前期比27.3%増)と大幅な増収となりました。しかし、株式会社TGMをはじめTGBS事業の利益が大きく寄与した一方で、上記のとおり新型コロナウイルス問題でCRO事業の売上が失速し、株式会社安評センターで受注獲得体制を早期に強化するため、より一層前倒しで進めてきた設備及び人材に対する投資に係る固定費の回収が進まず、営業利益は173百万円(同35.7%減)、経常利益は94百万円(同63.0%減)となりました。また、直近の業績動向等を踏まえ繰延税金資産の回収可能性を慎重に考慮し繰延税金資産を取り崩した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は440百万円(前期は202百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の急激な減退により景気は急速に悪化し、先行きの予測は大変難しい状況にあります。そのため、業績予想の算出が非常に困難な状況にあり、2021年3月期の連結業績予想につきましては未定とさせていただきます、合理的な算出が可能となった段階ですみややかに公表いたします。

◆研究開発状況

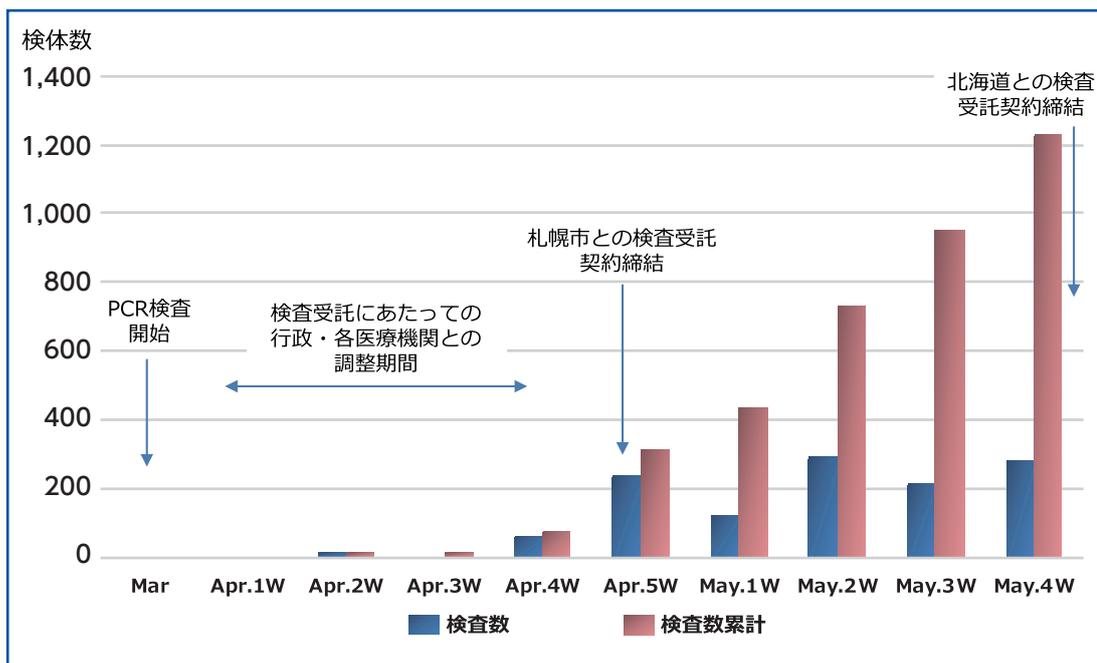
■モデルマウスの導入・開発状況



◆事業トピックス

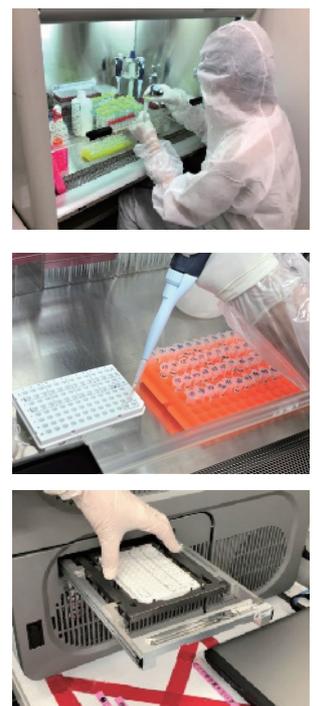
新型コロナウイルス検査(PCR検査)札幌市からの検査受託契約締結

連結子会社である(株)ジェネティックラボは、新型コロナウイルス検査(PCR検査)体制強化に取り組む札幌市及び各医療機関からの検査を受託し、民間検査機関として道内の検査数増強に貢献

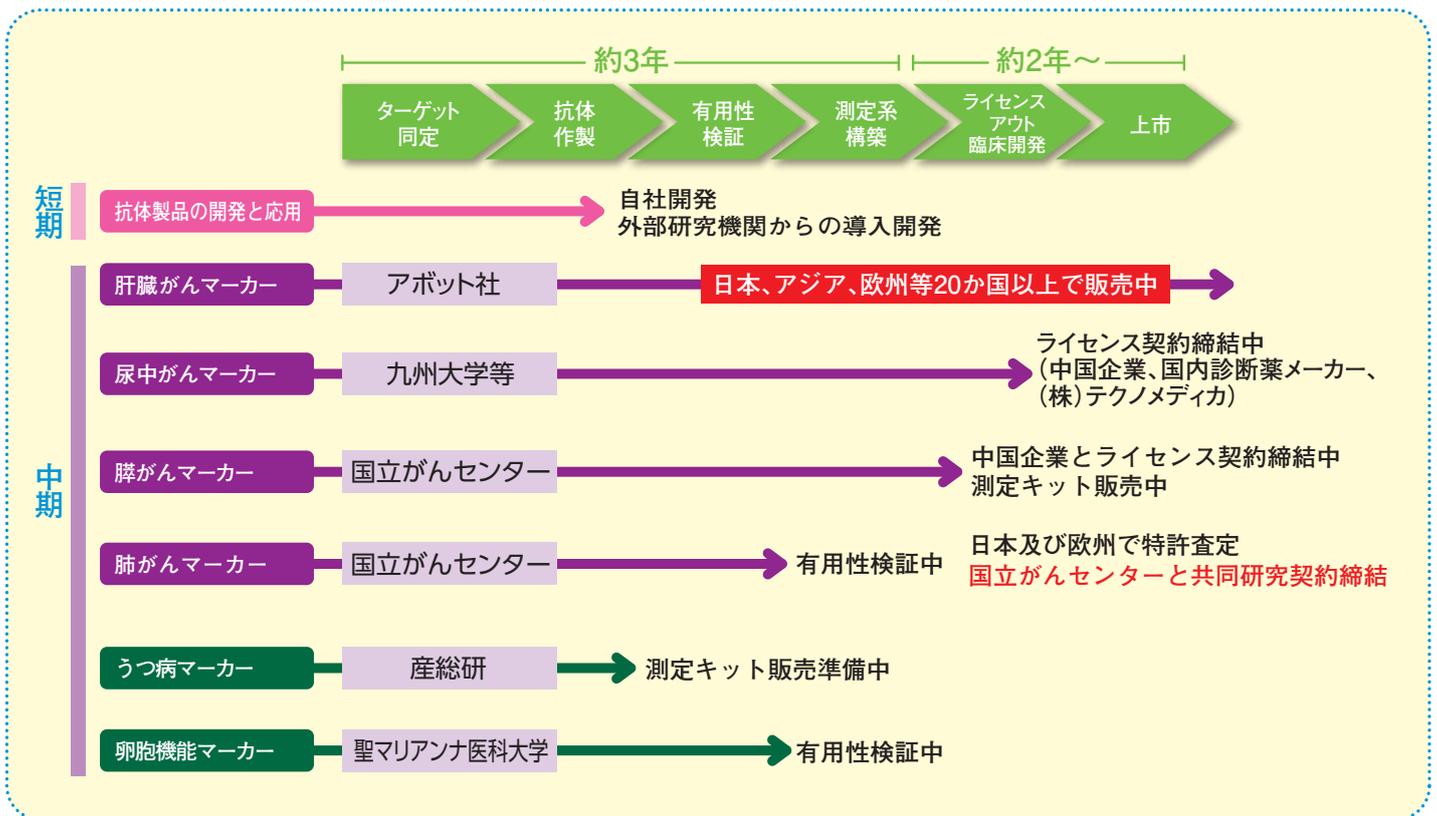


検査数は手術等での入院の際に行う入院前検査、患者隔離施設からの退院時陰性確認検査実施で安定的に推移

新型コロナウイルスに感染された患者様のご回復と、同ウイルスによる公衆衛生上の緊急事態が鎮静化することを心より祈念いたしております。



■開発パイプライン状況：抗体・診断薬・治療薬



◆2020年3月期事業トピックス

■ 特許 (Patent) ■ 研究開発 (R&D) ■ ライセンス契約 (License Agreement) ■ 製品・サービス (Products/Services) ■ その他 (Others)

- 2019年**
 - 5月**
 - マウスモノクローナル抗体可変領域配列の解析サービス開始 (Start of mouse monoclonal antibody variable region sequence analysis service)
 - (株)ボナックとの包括的業務提携契約締結 (Comprehensive business cooperation agreement with Bonack Co., Ltd.)
 - 「エクソンヒト化マウス」に関して国際特許出願 (International patent application for "exon humanized mouse")
 - 6月**
 - 国立がん研究センターとの新規肺がんマーカーに関する共同研究契約締結 (Joint research agreement with National Cancer Center regarding new lung cancer markers)
 - GANPマウス技術による体外診断薬の上市に係るマイルストーン受領 (Milestone received for the launch of in vitro diagnostic drugs using GANP mouse technology)
 - コンパニオン診断システム「オンコマインDxTargetTestマルチCDxシステム」保険収載ならびに検査サービス開始※1 (Companion diagnostic system "OncoMain Dx TargetTest Multi CDx System" insurance coverage and start of testing service ※1)
 - 7月**
 - 京ダイアグノスティクス株式会社との代理店契約締結 (Agency agreement with Kyodai Diagnostics Co., Ltd.)
 - 北海道小樽市との自己採取HPV検査サービスの契約締結※1 (Self-collection HPV testing service agreement with Oshima City, Hokkaido ※1)
 - 8月**
 - 北海道紋別市との自己採取HPV検査サービスの契約締結※1 (Self-collection HPV testing service agreement with Nemuro City, Hokkaido ※1)
 - 9月**
 - PDSX models (ヒト由来がん幹細胞スフェロイド細胞とPDSXモデルによる試験サービス) 開始 (Start of testing service using PDSX models (human-derived cancer stem cell spheroid cells and PDSX model))
 - Mutaマウスに関する権利譲渡契約締結※2 (License transfer agreement regarding Muta mouse ※2)
 - 10月**
 - 北海道利尻町との自己採取HPV検査サービスの契約締結※1 (Self-collection HPV testing service agreement with Rishiri Town, Hokkaido ※1)
 - 12月**
 - 北海道厚真町との自己採取HPV検査サービスの契約締結※1 (Self-collection HPV testing service agreement with Atsuma Town, Hokkaido ※1)
 - 北海道羅臼町との自己採取HPV検査サービスの契約締結※1 (Self-collection HPV testing service agreement with Raushu Town, Hokkaido ※1)
- 2020年**
 - 3月**
 - 新型コロナウイルス検査(PCR検査) 受託開始の決定※1 (Decision to start subcontracting for COVID-19 PCR testing ※1)
 - 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 研究用エクソンヒト化マウスの開発開始 (Start of development of exon humanized mouse for COVID-19 research)
 - 効率的ながん細胞同種移植試験用トランスジェニックマウスの導入 (Introduction of transgenic mouse for efficient cancer cell xenograft testing)
- 2021年3月期**
 - 4月**
 - 炎症可視化マウスに関する欧州特許査定 (European patent grant for inflammation visualization mouse)
 - 新型コロナウイルス検査(PCR検査) 札幌市からの検査受託契約締結※1 (COVID-19 PCR testing subcontracting agreement from Sapporo City ※1)
 - 5月**
 - 新型コロナウイルス検査(PCR検査) 北海道からの検査受託契約締結※1 (COVID-19 PCR testing subcontracting agreement from Hokkaido ※1)

会社概要 2020年3月31日現在

会社名	株式会社トランスジェニック
設立	1998年4月
資本金	3,484百万円
従業員数	26名(単体) 250名(連結)
事業所	
本社	福岡県福岡市中央区天神二丁目3番36号
神戸研究所	兵庫県神戸市中央区港島南町七丁目1番地14
東京オフィス	東京都千代田区有楽町一丁目7番1号

役員	
代表取締役社長	福永 健司
取締役	北島 俊一
取締役	山村 研一
取締役	船橋 泰
取締役	渡部 一夫
取締役	清藤 勉
常勤監査役	鳥巢 宣明
監査役	佐藤 貴夫
監査役	光安 直樹

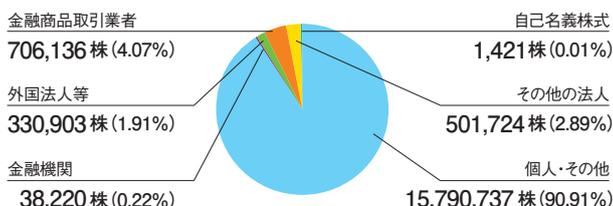
株式の状況 2020年3月31日現在

発行可能株式総数	43,630,100株
発行済株式の総数	17,369,141株
株主数	13,595名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松井証券株式会社	233,800	1.34
株式会社ムトウ	160,200	0.92
株式会社SBI証券	131,641	0.75
福永 健司	120,800	0.69
原田 育生	120,100	0.69
水越 敦	101,000	0.58
株式会社リムジンインタナショナル	92,900	0.53
島田 則康	91,200	0.52
マネックス証券株式会社	88,739	0.51
佐々木 宜敬	84,100	0.48

所有者別株主分布状況



株主メモ

証券コード	2342
上場市場	東京証券取引所 マザーズ
上場年月日	2002年12月10日
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

第22期定時株主総会 決議のお知らせ

拝啓 平素は格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。
当社第22期定時株主総会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

- 報告事項
第22期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)
本件は、上記事業報告、連結計算書類の内容及びその監査結果を報告いたしました。
- 決議事項
第1号議案 資本金及び資本準備金の額の減少並びに
剰余金処分の件
第2号議案 監査役3名選任の件
本件は、原案どおり承認可決されました。

IRのお知らせ

最新トピックスやホームページの更新情報などを電子メールでお知らせしています。
ご登録は当社ホームページにて受け付けています。

<http://www.transgenic.co.jp/>

当社のIR活動についてご意見・ご感想をお聞かせください。
下記アドレスへのご連絡をお待ちしております

ir@transgenic.co.jp

